

コンテンツ融合環境プロジェクト

プロジェクトの目標

コンテンツの形式やメディアの種類を意識することなく、目的とするコンテンツを取得し、様々な形で閲覧・視聴できるような、人と情報と環境をつなぐ、新しい「コンテンツ融合環境」を構築する。

プロジェクトの活動方針

産官学、海外研究機関との密な連携により、オンリーワンの研究を推進し、次世代のシーズとなるような技術の確立を目指す。

課題一覧

- ▶次世代3次元デジタルアーカイブ
 - ▶P2P型協調アノテーション環境(Alan Kay氏)、3DアーカイブのBlog生成環境と写真コンテンツ統合、複数3D空間の同時比較ブラウザ
- ▶WebとTVのコンテンツ変換・融合
 - ▶WebからTV型コンテンツ変換 (Web2Talkshowと対話型e-Hon、NHK、NRI)、TVとWebコンテンツの同時視聴(WebTelop、補完検索、NHK)、TVコンテンツのWeb化とズームングクロスメディア(Ricoh)、PCコンテンツの3Dアニメ変換(Croquet with TVML、NHK、Alan Kay)、Webニュースからの感情マイニングによるWebQA、複数Webサイトの同時比較ブラウザ
- ▶ユビキタス・コンテンツ操作環境
 - ▶RFID取得情報の操作・検索環境、Webコンテンツへの自律的振り舞い付加(WebBoard)、体感型Webブラウザ EnergyBrowser、コンテキスト・マークアップ言語設計、電子透かしによる情報埋め込み(Obayashi、Hitachi)
- ▶コンテンツ個人化・適応化
 - ▶仮想ポータルサイト作成環境MyPortalViewer (MPV) (Fujitsu)、セマンティックWebによるコンテンツ提示の個人化
- ▶WebマイニングとBlogマイニング
 - ▶Webからの観点(アスペクト)抽出 (NRI)、Blogからの重要Blogger発見(NEC America)

コンテンツ融合環境プロジェクト



fresco paintings are



ユビキタス・コンテンツ操作環境

- ・RFID取得情報の操作・検索環境
Webコンテンツへの自律的振り舞い付加 (WebBoard)
- ・体感型WebブラウザEnergyBrowser
- ・コンテキスト・マークアップ言語設計
- ・電子透かしによる情報埋め込み (Obayashi, Hitachi)



次世代3次元デジタルアーカイブ

- ・P2P型協調アノテーション環境 (Alan Kay氏)
- ・3DアーカイブのBlog生成環境と写真コンテンツ統合
- ・複数3D空間の同時比較ブラウザ



コンテンツ個人化・適応化

- ・仮想ポータルサイト作成環境
MyPortalViewer (MPV) (Fujitsu)
- ・セマンティックWebによるコンテンツ提示の個人化



WebとTVのコンテンツ変換・融合

- ・WebからTV型コンテンツ変換 (Web2Talkshowと対話型e-Hon, NHK, NRI)
- ・TVとWebコンテンツの同時視聴 (WebTelop, 補完検索, NHK)
- ・TVコンテンツのWeb化
- ・ズームングクロスメディア (Ricoh)
- ・PCコンテンツの3Dアニメ変換 (Croquet with TVML, NHK, Alan Kay)
- ・Webニュースからの感情マイニングによるWebQA
- ・複数Webサイトの同時比較ブラウザ



WebマイニングとBlogマイニング

- ・Webからの観点 (アスペクト) 抽出 (NRI)
- ・Blogからの重要Blogger発見 (NEC America)



コンテンツ融合環境プロジェクト

平成16年度活動状況

体制

プロジェクトリーダー： 田中克己（京都大学 / NICT）

メンバー： 笹田剛史，門林理恵子，木俵豊，熊本忠彦，灘本明代，宮森恒，角薫，呉受妍，
水口充，河合由起子，官上大輔，是津耕司，中島伸介，馬強，中村聡史（NICT）

共同研究： 野村総研，NHK技研，リコー，富士通研究所，NECアメリカ

委託研究： Wisconsin大（アラン・ケイ），大阪大学，東京都立大学

活動状況（主なトピックス）

平成16年9月

第3回情報科学技術フォーラムにてバス見学会・パネル展示を実施
NEC関西研究所と共同ミニワークショップを開催

平成16年10月

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウムにて成果発表

平成16年12月

京都観光プロジェクト発足
タイ・アジア工科大学大学院生（3名）招聘

平成17年1月

京大で第3回Int'l Conf. on Creating, Connecting and Collaborating through Computingを共催

平成17年3月

中国・北京でThe 1st NICT China-Japan Joint Forum on Digital Content and Web Computingを主催
中国・上海でThe 7th Asia Pacific Web Conference（APWeb2005）を共催

コンテンツ融合環境プロジェクト

平成17年度研究計画

研究課題	平成17年度	
	4月	3月
次世代3次元デジタルアーカイブ	システムの改良と最終評価	システム公開
WebとTVのコンテンツ変換・融合	システムの改良と最終評価	システム公開
ユビキタス・コンテンツ操作環境	システムの試作・改良と最終評価	システム公開
コンテンツ個人化・適応化	改良 実証実験	システム公開
WebマイニングとBlogマイニング	改良 実証実験	システム公開

コンテンツ融合環境WG

WGの活動方針

コンテンツ融合環境に関する情報交換，意見交換
コンテンツ融合環境の研究推進に必要な利用環境充実に向けた提案，
共有コンテンツの提案，共同研究の場の提供など

体制

主査： 柿元俊博（富士通研究所）

メンバー：西日本電信電話(株)，日本原子力研究所，(株)野村総合研究所，富士通(株)，
(株)富士通研究所，三菱電機(株)，(株)リコー，(株)アドバンスコープ，
大阪大学大学院（個人登録3名）
NICT（メディアインタラクシヨングループ）

活動状況（主なトピックス）

2004年6月1日 第3回コンテンツ融合環境WG

- ・03年度のプロジェクトの活動報告
- ・各委員からのプロジェクトに対する意見と活用方法の提案：地域ケーブルテレビ連携など

2004年10月29日 第4回コンテンツ融合環境WG

- ・04年度のメディアインタラクシヨングループの活動状況の報告と各メンバーからの意見。
- ・具体的な活用の対象としてWebアーカイビングの例としてNDLのWARPプロジェクトなどへの応用を議論。

今後の活動スケジュール

2005年6月ごろ 第5回WG 04年度のプロジェクトの成果と活用について